

## 保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人森の風学舎
施設名	保育所型認定こども園 森の風こども園
報告者（役職）	嘉成 頼子（園長）
住所・連絡先	三重県三重郡菰野町千草1622
	☎ 059-393-4782
	E-mail kodomoen@morinokaze.net

○タイトル（保育計画）

「井戸水と土山を使って子ども達の創造性を育む」

○主な助成備品

井戸設置費用

### 1. 保育計画策定の目的と具体的な実施内容

子どもにとって、可塑性のある素材である水や土を使って、自由に発想し、イメージを共有し、協力して、思ったことを実現する。また、体を思う存分使って遊ぶ。

また、井戸水を活用して畑へ水を運び水やりするなどする中で、野菜を育てることに楽しみを見つける。



井戸と共に遊ぶ子ども達



大空組 年長児 8名 年中児 7名 年少児 9名 計 24名

## お風呂造りたい

「お風呂造りたい！」という子達がいるとどうやって作ろう・・・？と考え、  
「穴を掘って水を入れたらいいんじゃない？」「穴を掘ったら水が出てくるんじゃない？」

といろんな意見が出てきました。保育者の提案も入れ、「ブルーシートを掘った穴に敷いたらいいじゃん」となりました。シャベルで穴を掘り、井戸の水を運び、お風呂屋さんができるようになりました。嬉しくてすっぽんぽんになる子や寝転がってはいる子、心の喜び、わくわくのままだま全体で喜んで遊ぶ姿は、水と土があったからこそだと感じます。

水、井戸があることで、遊びや世界が広がり、子ども達もわたしたちも豊かになるなあと感じました。



パン屋さんから  
美味しいパンが配達  
されてきました。

大地組 年長児9名 年中児7名 年少児9名 計25名

## うみをつくろうよ！

ひとりのわくわくが光る。

小さな穴を造って井戸から水を汲んできたバケツの水を入れていく。



### 子ども達の海

その海へ「ちょっと入れてね」と入りに来る子達。そこへ繋がる水路を作り、今度はその道から海へ流れることを楽しみだす。

水の勢いによって塞き止めたところが崩れる。「あ〜」と慌てるが、もう一度丁寧に「塞き止め」を作り直す。・・・その繰り返しをただただ黙々と続ける子。時折友達と「強いからくずれちゃったね」とか「そ〜っと入れたらいいんじゃない？」と考えている子ども達。

「もっともっと水を運ぼうよ！」やりたい、やりたいが湧いて出てくる。

もっともっと水を！

井戸へ駆け出していく、一緒にバケツを持ってくる。

「僕が水を出す。」

「おれホースをもっとくわ！！」

「重たいな〜」

「おれやるわ〜」

となりでやっている気持になって力が入る子

水の不思議・おもしろさに入り込んで  
井戸水を汲むことが続く



水と砂でもくもくとパンケーキを作る  
お花を飾ってケーキにも



「あったか〜い」「おんせんみた〜い」  
「あ〜たのしかった〜」

畑に水やり



野菜に水をやるために井戸水を汲む。ポンプアップして蛇口から出る水と、手押しポンプから出る水を使い分けている。



## 2. その成果と評価

4mの井戸を掘りました。水質検査をしたところ「飲料可」でした。わざわざ飲むことではなくても、水が口に入ったとしても安心して子ども達の遊びに使うことができるので感謝です。また思う存分水を使うことができることも感謝な事です。

ここに挙げたものはほんの一部です。水路を作り、水溜まりを作り・・・土と水は自由自在に自分の思い通りにすることができ、子ども同士のイメージも共有しやすいので、想像力を膨らませ、創造性を広げることができます。そしてそこに「力を合わせて」協働する姿があらこちらに見えます。そして、そこに1才2才の子達の姿もちらほらあります。

また、畑の野菜に水やりをすることで水を活用することも、水の有難さも感じる事ができています。水の冷たさ、心地よさを味わい、無くてはならない水を心と体で味わうことができるようになりました。

水の性質・・・高い所から低い所へ流れることや水は強すぎると土手を壊す力もあることを遊びながら体験的に知っていくことができました。

「水を管理し、活用する」ことは生活の基本的なことで、子ども達は体を使ってそれを学んでいるのだと思います。

近年言われている「非認知的スキル」即ち自分で考え、自分で感じ、工夫し、やってみる力を子ども達はこのように遊びを通して自ら養っていますが、それらは「幼児期の終わりまでに身につけたい10の姿」でもあって、子ども達は環境があれば喜んで力をつけていきます。

## 3. 今後の課題と展望

普段は山や川を遊び場としている子ども達ですが、園庭という身近な場所で常に遊びを展開できるというのは有難いです。子ども達のイメージが広げられるように、雨どいを置いたりしましたが、さらに丸太や材木なども組み合わせて遊ぶことができるようにしたいと思っています。園庭はできたばかりなので、今、土山しかないのですが、園庭全体を子ども達の想像性と創造力を高めていけるように壁土を置いたり、丸太などの材木を置いて組み合わせて子ども達が遊べる環境へ、子どもたちや保護者の人達と共に、さらに創り上げていきたいと思っています。

以上